期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	—	—
	資産見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	—	
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	5,922,723,948	①費用進行基準を採用した業務：全ての業務 ②当該業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：5,865,823,724（業務費：4,831,252,385、一般管理費：1,007,869,050、その他：26,702,289） イ）リース債務の減少に係る計上額：56,867,004 ウ）預託金（自動車リサイクル料）に係る計上額：33,220 エ）固定資産等の取得額：1,389,932,308（家畜仮勘定：1,074,410,161、建物：78,208,651、構築物：17,619,230、機械及び装置：65,068,326、車両運搬具：15,620,472、工具器具備品：28,924,350、建設仮勘定：1,315,440、ソフトウェア：1,050,000、水道施設利用権：819,000、棚卸資産（種子）：106,896,678）
	資産見返運営費交付金	1,389,932,308	
	資本剰余金	—	
	計	7,312,656,256	
合計		7,312,656,256	

⑶　運営費交付金債務残高の明細

（単位：円）

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
23年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	—	—（業務達成基準を採用した業務は無い）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	—	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	73,055,744	①費用進行基準を採用した業務：全ての業務 ②運営費交付金債務残高の明細（人件費残：18,413,397、契約済翌年度繰越額：45,738,000、前払費用：5,974,244、長期前払費用：2,275,913、棚卸資産（貯蔵品）：654,190） ③翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高は、翌事業年度において収益化する予定であります。
	計	73,055,744	

⑦　運営費交付金以外の国等からの財源措置の明細

⑴　施設費の明細

（単位：円）

区分	当期交付額	左の会計処理内訳			摘要
		建設仮勘定見返施設費	資本剰余金	その他	
施設整備費補助金	311,530,660	3,842,910	303,845,722	3,842,028	
計	311,530,660	3,842,910	303,845,722	3,842,028	